

2006 年度 小委員会活動成果報告

(2007 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	土地利用小委員会	主 査 名： 川上 光彦 就任年月： 2005 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	都市計画委員会	委員長名： 西村 幸夫 主 査 名：
設 置 期 間	2005 年 4 月 ~ 2009 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (簡条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 諸外国のものを参照しながら、わが国における土地利用の実態や問題を明らかにする。(第 1 ~ 4 年度) ・ 土地利用の計画制度と、自治体を中心とするその運用実態を分析し、その問題や課題を整理する。(第 1 ~ 4 年度) ・ 以上の分析にもとづいて、土地利用の整序化のための計画制度のあり方、具体的な提言などを行う。(第 3 , 4 年度) 	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：有 川上光彦(金沢大学)、明石達生(国土交通省国土技術政策総合研究所)、阿部成治(福島大学)、飯田直彦(国土交通省国土技術政策総合研究所)、姥浦道生(大阪市立大学)、浦山益郎(三重大学)、大橋南海子(㈱まちづくり工房)、小野尋子(琉球大学)、勝又済(国土交通省国土技術政策総合研究所)、川崎興太(都市計画コンサルタント勤務)、中井検祐(東京工業大学)、中出文平(長岡技術科学大学)、星卓志(札幌市役所)、和多治(横浜国立大学)	
設置 WG	なし	
2006 年度予算	250,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回(年度内計画を含む)
刊行物	なし
講習会	なし
催し物	なし
大会研究集会	1 .(名称)都市計画部門 パネルディスカッション 非成長時代の土地利用像と実現手法 - 市街地フリンジにみるアーバンフォームとマネジメント 参加者数 約 70 名 (資料名)「非成長時代の土地利用像と実現手法」
対外的意見表明・パブリックコメント等	なし
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1 .わが国における土地利用の実態や問題について、一定程度明らかにしてきている。 2 .土地利用の計画制度についてある程度整理を行い、先進事例の自治体における運用実態について一定程度明らかにしてきている。 3 .土地利用の整序化のための計画制度のあり方について、具体的な提言を行うための検討を進めてきている。
委員会活動の問題点・課題	1 .予算が限定されているため、旅費を支給する小委員会の開催は、年 1 回程度に限定されざるを得ない。そのため、研究活動が進みにくい。 2 .土地利用は広範な内容を含むため、小委員会活動は、市街地縁辺部の問題を主体とすることにしているが、それでも幅広い取り組みが必要であり、工夫を要する。
その他	